

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さくら一む八軒		
○保護者評価実施期間	6年 9月 15日		6年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	6年 9月 15日		6年 9月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	6年 10月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムが工夫されている。年間を通して少しずつレベルをアップしていけるように計画を立てている。また、放デイに関しては年齢差がある中でプログラムを工夫し、本人の実力や課題に合ったようなプログラムを行うようにしている。	体づくりやビジョントレーニング、食育、ワーキングメモリやきくくドリルなど、年間を通して少しずつレベルアップしていけるようプログラムを組んでいる。	より個人個人の課題に合ったプログラムにしていけるよう工夫をしていく。
2	児童への理解や接し方などを職員間で共有している。また、保護者様からは親身になって相談に乗ってくれると好評をいただいている。	放デイの児童は滞在時間が短い為、より注意深く観察を行っている。また、職員間の情報伝達や連携を綿密に行っている。また、保護者様とは連絡帳や送迎時、面談のときに密に連絡を取るようになっている。	児童との会話がはずむように、好きなものや興味のあるものについて調べるようにしている。
3	月1回のおたよりやSNSを通じて、日々の活動の様子を伝えていく。保護者からも好評である。	他の施設を参考にしたり、活動の様子が伝わりやすい写真を選ぶなどの工夫をおこなっている。	今後も継続して行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童への職員の接し方が柔らかすぎるときがある	滞在時間が長く、自由な時間が多くあるために児童が職員に求めてくることが多くなりがちである。	関係機関の方に入ってもらって接し方のアドバイスをいただいている。改善している最中である。
2	施設の問題で、トイレが1か所しかないために活動の切り替わりの時間に混みがちになってしまう。	トイレが1か所しかないので活動の切り替わりの時間にはどうしても行列ができてしまう。	トイレや手洗いは時間差をつけて待ち時間を減らせるように工夫をしている。
3	午前中の利用児童が少ない。	午前利用をするのが基本的には未就園児が多いため、午前利用できる期間が限られてくる。そのため毎年新しい入所児童を迎え入れる必要がある。	ほかの事業所や相談室、児童会館や地区センターなどに営業活動を行い、連携をとって関係を築いていく。